



[トップ](#) [暮らしの情報](#) [文化・スポーツ](#) [生涯学習・社会教育](#)

## ひので映画大使最新版

[2019年7月30日]

### 第109回映画大使「天気の子」

- ・ 期日 令和元年7月23日(火曜日) ※公開1週目
- ・ 場所 イオンシネマ日の出

#### 作品紹介

『君の名は。』が歴史的な大ヒットを記録した新海誠監督がおよそ3年ぶりに再び川村元気プロデューサーとタッグを組んで贈るファンタジー長編アニメーション。スタッフとしては、田中将賀も『君の名は。』に続きキャラクターデザインを担当している。

声の出演は、主人公の帆高役に醍醐虎汰朗が、ヒロインの陽菜役に森七菜が担当し、二人は2000人を超えるオーディションで選ばれた。その他、小栗旬、本田翼、倍賞千恵子、平泉成など豪華キャストが脇を固めている。

そして、音楽を担当するのは、ロックバンド「RADWIMPS」、彼らが手がける主題歌には女性ボーカルとして女優の三浦透子が参加し、微妙な心の動きを神秘的に歌い上げている。

高校1年生の夏、帆高は離島から逃げ出し東京に行くが、暮らしに困りうさくさいオカルト雑誌のライターの仕事を見つける。雨が降り続くある日、帆高は弟と二人で生活している陽菜という不思議な能力を持つ少女と出会い物語は動き出す。

天候の調和が狂っていく時代を舞台に、不思議な能力を持つ少女と出会った家出少年が、運命に翻弄されながら繰り広げる愛と冒険の物語を圧倒的な美術、映像と音楽で描き出す。



(C)2019「天気の子」製作委員会

### 映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

#### 映画大使の「第一声！」

- ★ 新宿のシーンや電車のシーンが凄くリアルで凄いなと思いました！
- ★ 本当の未来を見たような気がしました！
- ★ 音楽と映像がいい具合にかみ合っていたなと思いました！
- ★ この作品を観て、感動しましたね！
- ★ 思ったよりも考えさせられた作品でした！
- ★ 映像にすごく感動しました！
- ★ 楽しかった作品でした！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

### 映画大使の「映画のツボ！」

---

#### Aさん

新海誠監督の事は、有名な方ですので、知っておりました。『君の名は。』も観ましたが、映像が綺麗でしたね。私は宮崎駿監督の作品も観るのですが、新海誠監督の作品は宮崎駿監督の作品と違いまして、特にアップになった時の立体感があるなと思いました。昨日も23区内に出かけていたのですが、新宿のシーンや電車のシーンが凄くリアルで凄いなと思いましたし、気象の部分の映像も素晴らしいなと思いながら観ていましたね。

RADWIMPSさんが、前回の作品に引き続き音楽を担当していて、ちょうど合った曲でした。新海監督は、曲ができると、曲に合わせてアニメを変えていくと聞いています。そんな事をするのだとびっくりしましたね。

今年の今までで天気、この作品の内容にかぶっているように思えて、まるで予想していたのかなと思うほどでしたね。

#### Bさん

この作品の前宣伝で、テレビ番組に新海監督や音楽を担当された野田洋次郎さんも出演されていましたが、その時に本来ならば映像を作ってから音楽を作りますが、音楽を先に作ってから映像を作ったと話されていました。音楽は31曲作られたそうですね。そういう観点もあるのだなと思ひまして、今回は音楽を重視しながら鑑賞しました。

新海監督は『君の名は。』を作られた時と、今では気象状況が非常に変わっていて、例えば、ゲリラ豪雨や長梅雨などは、私たちも感じますが、そういう事に非常に重点を置かれたという事を話されていましたね。Aさんが言われていたように、雨の降り方や、雲の状況を非常に克明に表現されていると思いましたし、曲を31曲作られただけありまして、音楽と映像がいい具合にかみ合っていたなと思いました。

#### Cさん

日本国中が長雨や集中豪雨などいろいろとあって、これから先、地球環境がこの作品のようになっていく事もあるのだろうと想像しました。

人の思いやりで街も復興するでしょうし、思いやりから、壊れた心や、環境などが立ち直っていけるのかなと思いました。思いやりなしでは、復興も何もできないのではないかなと思いましたね。

人は、変わった世界で順応していくのだろうと思いました。

本当の未来を見たような気がしましたね。

#### Dさん

感想は皆さま(Aさん、Bさん、Cさんの3名)と同じです。

この作品を観て、感動しましたね。

いつもならば作品は観るだけになってしまいますが、皆さまの意見を聞く事ができて充実しますし、うれしく思います。

賠償千恵子さんが声の出演をされていましたね。

東京は、江戸時代、埋め立てをしていなくて、それを人間が埋め立てをして、今のようにしたので、この作品では、ある意味、元に戻ったようなものだと思いますよね。鉄道ができる前は水路を使っていたわけですし、人口的に変えてしまったものを戻したような感じがしましたね。

私が仕事で日本橋に行ったときに見た事があるのですが、この作品のようにビルの上にお稲荷さんが本当にあるのですよね。いくら進歩しても宗教的なものはあって、そこにロマンがあるという、この作品は素晴らしいなと思いましたし、感動しました。

#### Eさん

映像の奥行き感がすごいなと感じました。水たまりのシーンの特にアップにした時に、コンピュータグラフィックスというよりも実際の写真と同じような感覚で観る事ができましたね。この作品は、コンピュータグラフィックスもちろんですが、手書きに時間をかけていると聞いていたので、感心させられながら観ていましたね。内容も、高校生や中学生、小学生が主役の設定で、純粋さを教えてもらいました。

そして、将来的な危機感を垣間見る事ができて、思ったよりも考えさせられた作品でした。

#### Fさん

---

映像にすごく感動しました。夜のネオンや、電車の光、走っていくところ、雨の風景をコンピュータで表現しているところもあるでしょうが、手で描いているのだとするとすごいなと思いましたね。昔のアニメしか観た事がないので、この作品のようなアニメは初めて観ましたが、とてもいい作品を観る事ができたなと思いました。

あとは、みなさんと同じような感想です。

### Gさん

以前に台湾に旅行に行ったときに宮崎駿監督の作品のもとになったといわれるところを観る事ができました。宮崎駿監督の世界は、浮世絵のようで、平面的にくっきりとしていてストーリーを重視するような浮世絵の世界だと思っていたのですが、この作品は立体的になっていて、時代が変わるのかなと思いましたね。アニメが浮世絵の世界から、立体的になっていくのかなと考えながら観ていました。

### Hさん

私が一番感心したのは、音楽がすごくきれいで、優しい事でしたね。音楽を先に作って映像を後から描いたという事を今知ったのですが、とにかく音楽に感動しました。

青い空に積乱雲が浮かんでいるシーンが幻想的で、とってもきれいな描き方で、それもよかったなと思います。

楽しかった作品でした。

### Iさん

私は、『君の名は。』を観ていない状態で、今回この作品を観ました。

代々木の鳥居のあるビルですが、代々木駅のすぐ隣にありまして、昔『傷だらけの天使』で、萩原健一さんと水谷豊さんが住んでいたpentハウスで、有名なビルでした。先日、代々木に行きましたら、8月であのビルは取り壊されるそうでした、萩原健一さんが亡くなったからではないですが、この作品はそういう縁もあるのかなと思いましたね。そこから食いついてしまったのですが。

テンポが良い作品で、だんだん引き込まれる感じで、更に涙ありという物語になっていましたね。

主人公の帆高くん16歳は、設定が現在なのですが、それぞれの方の16歳であればあのような事をやってみたくらいと思ったのかなと思い、観られる方の年齢はさまざまですが、その方なりの16歳にかえて観ていただけるとすごく面白作品なのかなと、思いました。

### 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・街の描き方がすごいなと思いましたね！
- ・まるでドローンを飛ばしたような映像がありましたね！
- ・この作品の映像は、宮崎駿監督の世界とトイストーリーの3Dとの間の作品なのかなと思いましたね！
- ・先日、京都のアニメーション会社が火事になりましたが、その時に世界的なニュースになっていまして、日本のアニメが世界に大事にされている事と、日本以上に海外の方が日本のアニメを評価している事がすごくわかりましたね。
- ・日の出町のお祭りでも、雨ごいの踊りがあるのですよ！
- ・バスやラーメンなどの小道具も凄くリアルでしたね！
- ・今ある街がそのまま描かれていましたね。それも最近のものに変わっていましたよね！
- ・この作品のエンドロールを観まして、すごく多くの方が携わっている事を知りましたね！
- ・映画は進化しているのですね！
- ・映像にノスタルジックを感じましたね！

### まとめ

この作品は、『君の名は。』の新海監督の作品だけあり、かなり前から話題になっていました。大使の方々もテレビなどからの情報も多く、前知識が多い状況でした。

大使の方からも映像のきれいさや実際の街を厳密にリアルに表現している点などについて話が多く出ており、映像を観ているだけでも、満足してしまうほどでした。それに加えRADWIMPSの音楽や主題歌についても、映像によくあっており(音楽に映像を合わせているようですが)、自然と心に入っていく感じがしました。

そして、座談会についても、映像や音楽の話を中心に大いに盛り上がりました。

作品としては、映像と音楽はもちろんですが、主演の二人、帆高役の醍醐虎汰朗、陽菜役の森七菜の声に新鮮さがあってよく、周りの出演者には、ベテランを配置しているところも効果をだしていると思います。

映像と音楽がよく合っている作品で、特に映像がきれいな作品ですので、是非映画館の大きなスクリーンで観ていただきたいです。

今、10歳代の方も、過去に10歳代でした方もその年代の物語を感じていただければと思います。

映画は是非、劇場の大スクリーンをご覧ください！

映画大使では、年代も性別も違う方達が、それぞれ意見を出し合いひとつの映画について話し合うという、日ごろできない経験をすることが出来ます。映画を観て自分がこう思っただけでなく、年齢や経験などの違う人の目線で観たことを聞くことにより、違った発見があるので、ひとつの映画が何倍にも広がって行きます。

今後も「ひので映画大使」にご期待ください！！

## 関連ページ

- ・ [これまでのひので映画大使](#)
- ・ [ひので映画大使のトップに戻る](#)

## ご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

送信

## お問い合わせ

東京都 日の出町 文化スポーツ課 社会教育係  
電話: 042-597-0511(内線541) ファクス: 042-597-6698

ひので映画大使最新版への別ルート

[トップ](#) [新着情報](#)

Copyright (C) Hinode Town All Rights Reserved.